

家庭科、技術・家庭科（家庭分野）における教育のイメージ（たたき台）

平成27年12月15日
教育課程部会
家庭、技術・家庭
ワーキンググループ
資料3

【高等学校】 共通教科

- 実践的・体験的な学習活動を通して、生活を科学的に理解し、自立した生活者として必要な知識及び技術を習得する。
- 生活の課題を解決するために、家庭科における見方や考え方を踏まえて生活を科学的に探究し、多面的に解決方法を考え、安心して充実した生活を創造する能力を養う。
- 様々な年代の人と関係を深め、主体的に地域社会に参画し、社会の一員として、家庭や地域の生活を創造しようとする実践的な態度を養う。
- 「ホームプロジェクト」や「学校家庭クラブ活動」などの問題解決的な学習を充実する。
- 少子高齢社会に対応する力（子育て支援等の理解、高齢者の肯定的理解や基本的な介護技術、生涯生活設計能力）、生活課題を解決するために必要な社会参画力、他者と共生するためのコミュニケーション能力、消費・環境に配慮したライフスタイルを確立するための意思決定能力、日本の生活文化を継承・創造する力等を育成する学習活動を充実する。

【中学校】

- 衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、日本の生活文化についての理解を深める。
- これからの生活を展望して、生活の中から課題を見だし、身に付けた知識と技術を家庭分野における見方や考え方を踏まえて活用し、生活をよりよくしようと工夫する能力を養う。
- 自分と家庭、家庭生活と地域との関わりを考え、地域の人々と協働し、生活をよりよくしようとする実践的な態度を養う。
- 家庭や地域社会との連携を図り、「生活の課題と実践」などの問題解決的な学習を充実する。
- 少子高齢社会に対応する力（家庭の機能や子育て理解、高齢者理解等）、食生活の自立を図る力、消費・環境に配慮したライフスタイルを確立するために基礎となる力等を育成する学習活動を充実する。

【小学校(高学年)】

- 衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を習得するとともに、日本の生活文化についての理解を深める。
- 生活の中から課題を見だし、身に付けた知識や技能を家庭科における見方や考え方を踏まえて活用し、生活をよりよくしようと工夫する能力を養う。
- 家庭生活への関心を高め、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようとする実践的な態度を養う。
- 家庭や地域と連携を図り、問題解決的な学習を充実する。
- 少子高齢社会に対応する力（家庭生活と家族の大切さなど）、健康で安全な食生活の基礎となる力、消費・環境に配慮した生活の仕方を工夫する力等を育成する学習活動を充実する。

【小学校(低・中学年)】

- 基本的な生活習慣や生活技能、身近な人々との接し方（家族や地域の様々な人々）、成長への喜び・成長を支えてくれた人々への感謝等（生活科）
- 健康によい生活についての理解（健康に過ごすための明るさの調節や換気などの生活環境）、体の発育・発達についての理解（体をよりよく発育・発達させるための調和のとれた食事）（体育科）
- 節度・節制（基本的な生活習慣、節度ある生活）、家族愛、家庭生活の充実等（道徳）等

【幼児教育】（教育課程部会幼児教育部会において、本ワーキンググループでの議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化について審議）

- 衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動の必要性に気付き、自分でする。
- 親や祖父母など家族を大切にしようとする気持ちをもつ。等